

令和7年度 日常自己点検・評価のまとめ

5 達成している	4 ほぼ達成している	3 どちらとも言えない
2 取り組みを検討中	1 改善が必要	

1 教育理念・目標	評 価
(1) 理念・目標・育成人材像は明確となっているか	5
(2) 学校の特色は社会のニーズから見て適切か	5
(3) 学校の将来構想を抱いているか	5
(4) 理念に基づく教育が行われているか	5

2 学校運営	評 価
(1) 教育理念・目標に沿って運営方針は定められているか	5
(2) 教育理念・目標に沿って事業計画は定められているか	5
(3) 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
(4) 職場環境の改善のための体制は整備されているか	5
(5) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
(6) 危機管理体制は整備されているか	5

3 教職員	評 価
(1) 教育理念・目標が教職員間で共有されているか	5
(2) 教育課程改善のための取り組みが行われているか	5
(3) 指導力向上のための取り組みが確立されているか	5
(4) 教職員評価(=自己申告書)を行っているか	5

4 教育活動	評 価
(1) 教育理念・目標に沿ってカリキュラムは体系的に編成されているか	5
(2) 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3) 目標に向け授業を行う事ができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
(4) 成績評価・進級・修了の判定は明確になっているか	5
(5) 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	4

5 学修成果	評 価
(1) 学生の日本語能力の向上が図られているか	4
(2) 学生の日本語能力を適切に把握しているか	4
(3) 学生の進路を適切に把握しているか	5

6 学生支援	評 価
(1) 学習相談や進路に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	5
(2) 学生の心身の健康管理・事故・怪我のサポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
(3) 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
(4) 防災や緊急時における体制は整備されているか	5
(5) 保護者と適切に連携しているか	4
(6) 卒業生への支援体制はあるか	4

7 在留管理と生活指導	評 価
(1) 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
(2) 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
(3) 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5

(4) 常に最新の学生情報を把握しているか	4
(5) 学生情報を共有し、日頃の指導に役立てられるように体制は整備されているか	4

8 教育環境	評 価
(1) 施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
(2) 日本語能力を高める上で教材は適切か	5
(3) 学習効率を図るための環境整備がなされているか	5

9 入学者の募集	評 価
(1) 学生の受入方針は定められているか	5
(2) 学生の募集活動は、適正に行われているか	5
(3) 学生募集活動において、学校情報は正確に伝えられているか	5
(4) 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
(5) 授業料等は適切か	5

10 財務	評 価
(1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5
(2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
(3) 財務について会計監査は適切に行われているか	5
(4) 財務情報の公開の体制はできているか	5

11 法令遵守	評 価
(1) 法令、設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
(2) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
(3) 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
(4) 自己点検・自己評価結果を公表しているか	5
(5) 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

12 地域貢献・社会貢献	評 価
(1) 学校の教育資源や施設を活用した地域貢献・社会貢献を行っているか	3
(2) 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

・校外学習の実施など当初の予定通り日本での文化体験や社会体験なども経験できた。

・開校以来7年連続で「適正校」また「クラスⅠ」に選定され、今年度は交付率100%となり今後も維持していかなければならない。

・学生募集においても、「適正校クラスⅠ」として引き続き在留資格の交付率の維持を努めていく必要があり、送り出し機関と連携し適切な取扱に努めていく。

・また、今後も、送り出し機関との協力体制を強固なものとし、学習意欲のより高い学生の確保を進めるためにも、その施策のひとつとして入国前講習を継続実施し、レベルアップした状態で受け入れることとしていく。

・令和7年度は44名の学生が卒業を迎え、進学や就職することができた。一人一人の学生の希望に沿い、夢が叶えられるような指導を進めていきたい。

・来年度も本校の定員数通りとなることを踏まえ、安定的な経営基盤を築くために新たな収益をあげる施策を行うとともに、JLPT合格率アップや学生募集から日本での就職までを見据えた指導といった他の日本語学校にない魅力、差別化を図り、選ばれる日本語学校を目指して教職員が一致団結して努力していかなければならない。